



2022年11月24日

各 位

会 社 名 株式会社ファンペップ
代表者名 代表取締役社長 三好 稔美
(コード番号：4881 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長兼 CFO 林 毅俊
(TEL. 03-5315-4200)

抗体誘導ペプチド「FPP003」の物質特許成立（欧州）のお知らせ

当社が開発中の抗体誘導ペプチド「FPP003」の物質特許（以下、「本特許」）が欧州において成立し、この度、欧州特許庁から特許公報が発行されましたのでお知らせします。

本特許は、FPP003の用途（対象疾患）にかかわらず、物質そのものを広く保護する物質特許です。

【発明の名称】 疾患の要因となる生体内タンパク質を標的とするコンジュゲートワクチン
【出願人】 国立大学法人大阪大学^(注)、株式会社ファンペップ
【特許番号】 3434279

(注) 当社は、本特許について国立大学法人大阪大学から独占的な実施権の許諾を受けています。

抗体誘導ペプチドは、患者様の体内で抗体産生を誘導することにより治療効果を期待するペプチド治療ワクチンです。

バイオ製造施設で製造する抗体医薬品とは異なり、抗体誘導ペプチドは化学合成で製造することが可能なため製造コストを抑制できます。さらに投与後は患者様の体内で免疫細胞が一定期間持続的に抗体を産生するため、薬剤投与間隔も長いことが期待されます。この特徴により、当社は、高額な抗体医薬品に対して医療費を抑制できる代替医薬品として抗体誘導ペプチドを開発し、先進国で深刻化する医療財政問題の解決や患者様の負担軽減に貢献していきたいと考えております。

当社は、抗体誘導ペプチドの創薬プラットフォーム技術を保有していることを強みとし、大阪大学大学院医学系研究科との共同研究によって抗体誘導ペプチドの創薬研究を行っております。

FPP003の標的タンパク質 IL-17A は、様々な炎症性疾患の病態に重要な役割を担っており、先行する抗 IL-17A 抗体医薬品は、尋常性乾癬、関節症性乾癬、強直性脊椎炎及び X 線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎等の幅広い疾患を対象に薬事承認を取得しております。FPP003 についても、日米欧等での世界展開を視野に入れて開発を進めており、現在、オーストラリアで尋常性乾癬を対象疾患とした第 I / II a 相臨床試験を進めております。

FPP003 は、住友ファーマ株式会社との共同研究により創生した開発化合物です。当社は同社との間で北米での全疾患を対象とする独占的開発及び商業化権に関するオプション契約を締結しており、欧州を含む北米以外の地域については同社が優先交渉権を保有しております。

なお、本特許成立は、当期業績に影響を与えるものではありませんが、既に本特許が成立している日本及び米国等に続き、欧州でも本特許の実施について独占排他権が認められたことを意味し、FPP003 開発プロジェクトを強力にサポートするものです。

以上